

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 2914 URL <http://www.jti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 宏

問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長

(氏名) 前田 勇氣

TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,651,891	△13.0	252,542	△23.4	215,609	△19.9	106,926	△18.7
21年3月期第3四半期	5,346,145	—	329,654	—	269,024	—	131,454	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	11,161.33	11,159.28
21年3月期第3四半期	13,721.65	13,720.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,917,855	1,668,296	40.7	166,437.71
21年3月期	3,879,803	1,624,288	40.0	162,087.74

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,594,489百万円 21年3月期 1,552,813百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2,600.00	—	2,800.00	5,400.00
22年3月期	—	2,800.00	—		
22年3月期 (予想)				2,800.00	5,600.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,130,000	△10.3	283,000	△22.2	246,000	△20.0	122,000	△1.1	12,734.74

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、8ページ「4. その他(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 10,000,000株 21年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 419,903株 21年3月期 419,920株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 9,580,090株 21年3月期第3四半期 9,580,080株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、8ページ及び「2010年3月期第3四半期決算添付資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般的概況

当第3四半期(2009年4月1日～2009年12月31日)の業績

当第3四半期における世界経済は、各国の景気刺激策等の効果により、アジアを中心に景気の回復傾向が見られたものの、米国及び当社グループの主要市場のある欧州では、厳しい雇用情勢が続く等引き続き深刻な状況となりました。わが国の経済につきましては、輸出や生産に持ち直しの動きが見られた一方で、企業収益の減少や雇用情勢の悪化等引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、2009年4月に策定した中期経営計画「JT-11」のもと、将来に亘る持続的な成長を可能とするために、将来に向けた投資と不断の業務改善の実践に取り組んでおります。

なお、海外たばこ事業に区分した連結子会社の第3四半期の決算日は9月30日であり、1月1日から9月30日までの業績を第3四半期の業績としております。

売上高

国内たばこ事業における総需要の減少に伴う販売数量の減少、海外たばこ事業における為替のマイナス影響等により、売上高は前年同期比6,942億円減収の4兆6,518億円(前年同期比13.0%減)となりました。

	2009年3月期 第3四半期 (億円)	2010年3月期 第3四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	53,461	46,518	△6,942	△13.0
国内たばこ事業	24,781	23,529	△1,251	△5.1
海外たばこ事業	24,569	19,465	△5,103	△20.8
医薬事業	481	343	△137	△28.6
食品事業	3,477	3,032	△445	△12.8
その他事業	151	147	△4	△2.9

※ 外部売上高で表示しております。

営業利益

売上高の減少に伴う営業利益の減少を、国内たばこ事業における一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少で一部相殺したものの、前年同期に計上していた医薬事業における契約一時金収入が無くなったことによる利益への影響等により、営業利益は前年同期比771億円減益の2,525億円(前年同期比23.4%減)となりました。

	2009年3月期 第3四半期 (億円)	2010年3月期 第3四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	3,296	2,525	△771	△23.4
国内たばこ事業	1,522	1,639	117	7.7
海外たばこ事業	1,705	973	△731	△42.9
医薬事業	58	△91	△149	—
食品事業	△78	△73	4	—
その他事業	73	81	7	10.7
消去又は全社	15	△3		

経常利益

海外たばこ事業において、社債の償還、借入金の返済及び金利の低下に伴い支払利息が減少したこと、また事業運営上行っている為替ヘッジ活動による為替差損はあったものの、前年同期に計上していた連結子会社における負債の期末評価に係る為替差損の減少幅がこれを上回ったことから、営業外損益は改善しました。しかしながら、経常利益は営業利益までの減少を受けて、前年同期比 534 億円減益の 2,156 億円（前年同期比 19.9%減）となりました。

四半期純利益

固定資産売却益の減少があったものの、前年同期に計上していたフィリピン市場の事業スキームを変更したことに伴う費用、廃止社宅等の取り壊し撤去費用を含む関連損失及び成人識別自販機導入費用が無くなったこと等から特別損益は改善しました。しかしながら、四半期純利益は経常利益までの減少を受けて、前年同期比 245 億円減益の 1,069 億円（前年同期比 18.7%減）となりました。

②事業別の概況

〔国内たばこ事業〕

国内たばこ事業につきましては、当社グループの利益創出の中核として位置づけております。国内市場における総需要の減少、競合他社との競争激化により、事業環境は一層厳しさを増しております。当社といたしましては、競合他社との競争優位性の確保に向け、強靱なブランド・ポートフォリオの構築に努めるとともに、お客様満足度の最大化に向けた付加価値・品質の更なる向上、コスト効率性の高い事業運営体制の構築につきましても、不断の取り組みを行っております。

当第 3 四半期においては、中核ブランドであるマイルドセブン・ファミリー、セブンスター・ファミリーを中心に既存ブランドの育成や新製品投入に注力し、ブランド価値の向上に努めました。具体的には、「マイルドセブン・100's・ボックス」「マイルドセブン・ライト・100's・ボックス」「セブンスター・ブラック・チャコールメンソール・ボックス」「ウinston・ライト・ボックス」「ピアニッシモ・アイシーン・メンソール・ワン」、2010年2月より「マイルドセブン・インパクト・ワン・メンソール・ボックス」を全国発売しております。なお、3月より「キャメル・メンソール・ミニ」を地域限定で発売いたします。

また、2010年1月より「アイシーン」「ルーシア」の各ブランドを「ピアニッシモ」ブランドに統合し、2月よりマイルドセブン・ファミリーの主要 15 銘柄についてデザインを変更することによって、ピアニッシモ・ファミリー及びマイルドセブン・ファミリーのブランド価値を強化、向上し、継続的な成長を目指しております。

当第 3 四半期における紙巻たばこの販売数量は、総需要の減少等により、前年同期に対し 62 億本減少し、1,174 億本（注）（前年同期比 5.0%減）となりました。また、積極的な販売促進活動の実施や新製品の投入等により、シェアは 65.0%、千本当税抜売上高は 4,056 円となりました。

この結果、売上高は、販売数量の減少により、前年同期比 1,251 億円減収の 2 兆 3,529 億円（前年同期比 5.1%減）となりました。営業利益は、売上高の減少があったものの、一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少等により、前年同期比 117 億円増益の 1,639 億円（前年同期比 7.7%増）となりました。

（注）国内たばこ事業の販売数量には、当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第 3 四半期における販売数量 28 億本があります。

〔海外たばこ事業〕

海外たばこ事業につきましては、当社グループの利益成長の牽引役としての役割を果たし続けるべく、GFB（注1）への資源集中、単価の改善によるマージン率の向上等、トップライン成長の機会を積極的に追求しております。

当第3四半期におけるGFBの販売数量は、「ウinston」がイタリア、フランス、トルコで、「キャメル」がイタリア、ウクライナで順調に伸張しました。しかしながら、イランにおける不安定な事業環境の影響、フィリピンにおいてライセンス契約から製造委託へ切り替えたことに伴う影響等により、GFBの販売数量は前年同期に対し31億本減少し、1,824億本（前年同期比1.7%減）、また、GFBを含む紙巻たばこの販売数量は、前年同期に対し125億本減少し、3,256億本（注2）（前年同期比3.7%減）となりました。

当第3四半期における業績につきましては、前年同期比で主要市場の現地通貨が、海外たばこ事業の決算を連結する子会社において使用する米国ドルに対して下落し、更に、邦貨換算時に円高の影響を受けたことから、売上高は、前年同期比5,103億円減収の1兆9,465億円（前年同期比20.8%減）となりました。営業利益は、これらの為替影響に加えて、葉たばこ価格の上昇を受けた製造コストの増等により、前年同期比731億円減益の973億円（前年同期比42.9%減）となりました。

（注1）ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウinston」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）としております。

（注2）当期より、海外たばこ事業における紙巻たばこの販売数量には、シガー、パイプ、スヌースの販売数量を含んでおります。当第3四半期のシガー、パイプ、スヌースの販売数量は5億本です。また、前期まで当該数値に含んでいた、主としてドイツ市場において展開しているプライベートブランドの販売数量は、当期より除外しております。当第3四半期のプライベートブランドの販売数量は33億本です。

※ 当第3四半期の為替レートにつきましては1米国ドル=94.96円、前年同期の為替レートにつきましては、1米国ドル=105.84円です。

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力し、引き続き、国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築、オリジナル新薬を通じての存在感の確保に努めております。開発状況としましては、C型肝炎治療薬「JTK-853」が臨床試験段階に移行したことにより、自社開発品10品目が臨床試験の段階にあります。

また、早期の事業価値実現に向けた、戦略的な導出入機会の探索及び提携先との連携強化についても取り組んでおります。

子会社鳥居薬品㈱につきましては、「注射用フサン（蛋白分解酵素阻害剤）」の売上高は減少したものの、2009年3月より「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」の販売を開始したことに加え、「ツルバダ配合錠（抗HIV薬）」、「セロトーン（制吐剤）」等の売上高が伸張したことから増収となりました。

この結果、鳥居薬品㈱における増収があったものの、前年同期は2008年11月に米国メルク社へ導出した骨粗鬆症治療薬「JTT-305」の契約一時金収入及び2004年10月にロシュ社へ導出した脂質異常症治療薬「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入を計上していたこと等により、売上高は前年同期比137億円減収の343億円（前年同期比28.6%減）、営業損失は91億円（前年同期は58億円の営業利益）となりました。

〔食品事業〕

食品事業につきましては、飲料事業、加工食品事業、調味料事業の3分野に注力し、最高水準の安全管理に向けた取り組みを推進するとともに、将来の成長に向けた事業基盤の

更なる強化に努めております。

飲料事業におきましては、基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化や自動販売機オペレーターである子会社(株)ジャパンビバレッジを中心とした販売網の充実に努めており、これらの取り組みを通じた着実な拡大を図るとともに、収益力の強化に向けた取り組みを推進しております。

加工食品事業及び調味料事業におきましては、テーブルマーク(注)グループにおいて、各バリューチェーン機能の強化を通じた事業量の拡大及び強固な基盤確立に努めております。

この結果、売上高では、チルド加工食品からの撤退及び一部子会社を連結対象外とした影響等により、前年同期比 445 億円減収の 3,032 億円(前年同期比 12.8%減)となりました。また、利益面では、2009 年 6 月に子会社(株)グリーンフーズの株式を子会社(株)加ト吉(現テーブルマーク(株))が追加取得したことに伴い発生したのれん償却の影響等があったものの、コスト削減等の効果により、営業損失は 73 億円(前年同期は 78 億円の営業損失)となりました。

(注)「テーブルマーク株式会社」は、2010 年 1 月に、社名を「株式会社加ト吉」から変更いたしました。

〔その他事業〕

その他事業につきましては、売上高は前年同期比 4 億円減収の 147 億円(前年同期比 2.9%減)、営業利益は前年同期比 7 億円増益の 81 億円(前年同期比 10.7%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ 308 億円減少し、1,364 億円となりました(前年同期末残高 2,570 億円)。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 3 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出はあったものの、海外たばこ事業において葉たばこ価格の上昇及び買付量の増によるたな卸資産の増加があったこと等から、2,833 億円の収入(前年同期は 3,587 億円の収入)となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 3 四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、廃止社宅等の売却による収入があったものの、有形固定資産の取得等により、653 億円の支出(前年同期は 316 億円の支出)となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 3 四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパー及び社債の発行による収入があったものの、社債の償還、長期借入金の返済及び配当金の支払い等による支出に伴い、2,541 億円の支出(前年同期は 2,605 億円の支出)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内たばこ事業において、予想販売数量を5億本下方修正するとともに、食品事業において消費低迷の長期化影響等による減収を見込むものの、海外たばこ事業において販売数量を29億本上方修正すること及び前提為替レートを変更することにより、売上高については400億円上方修正し、営業利益及び経常利益については110億円上方修正いたします。

当期純利益につきましては、遊休不動産の売却を前倒しで進めていること等による特別損益の改善が見込まれることから上方修正額を140億円といたします。

2010年3月期の連結業績予想につきましては、以下のとおりです。

	前回予想 (2009年10月29日公表)	今回予想	前回予想比増減
売上高	60,900億円	61,300億円	400億円
営業利益	2,720億円	2,830億円	110億円
経常利益	2,350億円	2,460億円	110億円
当期純利益	1,080億円	1,220億円	140億円

※主な前提条件

国内たばこ事業

	前回予想	今回予想
販売数量	1,525億本	1,520億本

海外たばこ事業

	前回予想	今回予想 (2009年1月～12月実績)
販売数量	4,320億本	4,349億本
為替レート(1米ドル)	93.00円	93.65円

(注) 前回予想時に前提としたその他の為替レートにつきましては、1米ドルにつき、32.25ルーブル、0.65英ポンド、0.73ユーロとしておりました。今回予想時においては、1米ドルにつき、31.77ルーブル、0.65英ポンド、0.73ユーロとしております。

(注) 上記の業績予想の各数値は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいて算定しております。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いて算定したものです。将来の予想に本質的に内在する不確実性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性等に照らし、現実の業績の数値は、上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想のご利用にあたっては、「将来に関する記述等についてのご注意」も併せてご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2010年3月期 第3四半期決算短信添付資料」に記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2009年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131,506	164,957
受取手形及び売掛金	327,277	290,068
有価証券	20,998	4,910
商品及び製品	145,338	122,970
半製品	109,649	119,290
仕掛品	5,689	6,561
原材料及び貯蔵品	291,448	215,334
その他	221,253	174,751
貸倒引当金	△3,324	△3,162
流動資産合計	1,249,837	1,095,682
固定資産		
有形固定資産	667,122	668,742
無形固定資産		
のれん	1,370,195	1,453,961
商標権	348,756	347,372
その他	28,049	30,509
無形固定資産合計	1,747,001	1,831,843
投資その他の資産		
投資有価証券	89,350	90,230
その他	200,700	234,999
貸倒引当金	△36,156	△41,695
投資その他の資産合計	253,894	283,534
固定資産合計	2,668,018	2,784,121
資産合計	3,917,855	3,879,803
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,187	158,544
短期借入金	68,771	113,231
コマーシャル・ペーパー	94,000	—
1年内償還予定の社債	50,922	190,363
1年内返済予定の長期借入金	25,285	26,380
未払たばこ税	253,260	172,986
未払たばこ特別税	20,772	10,470
未払地方たばこ税	171,161	85,541
未払法人税等	49,172	51,777
引当金	27,812	39,172
その他	236,422	244,936
流動負債合計	1,161,769	1,093,403

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2009年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
固定負債		
社債	407,699	349,794
長期借入金	183,390	299,563
退職給付引当金	251,975	259,145
その他の引当金	664	1,318
その他	244,059	252,289
固定負債合計	1,087,789	1,162,111
負債合計	2,249,559	2,255,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,406	736,400
利益剰余金	1,278,267	1,224,989
自己株式	△74,575	△74,578
株主資本合計	2,040,098	1,986,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,628	8,437
繰延ヘッジ損益	—	92
海外連結子会社の年金債務調整額	△18,012	△18,965
為替換算調整勘定	△438,225	△423,561
評価・換算差額等合計	△445,609	△433,997
新株予約権	507	364
少数株主持分	73,298	71,109
純資産合計	1,668,296	1,624,288
負債純資産合計	3,917,855	3,879,803

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)
売上高	5,346,145	4,651,891
売上原価	4,332,945	3,801,168
売上総利益	1,013,200	850,722
販売費及び一般管理費	683,545	598,179
営業利益	329,654	252,542
営業外収益		
受取利息	5,379	3,377
受取配当金	1,993	1,720
その他	9,397	5,431
営業外収益合計	16,769	10,528
営業外費用		
支払利息	37,940	20,991
為替差損	31,877	19,123
たばこ災害援助金	764	538
その他	6,816	6,808
営業外費用合計	77,398	47,462
経常利益	269,024	215,609
特別利益		
固定資産売却益	40,158	21,762
その他	1,627	5,747
特別利益合計	41,785	27,510
特別損失		
固定資産売却損	2,031	3,517
固定資産除却損	7,849	4,127
減損損失	11,705	2,426
事業構造強化費用	19,456	6,599
その他	29,349	9,821
特別損失合計	70,392	26,491
税金等調整前四半期純利益	240,417	216,628
法人税等	104,511	104,565
少数株主利益	4,451	5,136
四半期純利益	131,454	106,926

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	240,417	216,628
減価償却費	131,227	98,740
減損損失	11,705	2,426
固定資産除売却損益(△は益)	△36,597	△15,720
のれん償却額	80,436	74,428
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,741	△6,176
受取利息及び受取配当金	△7,372	△5,097
支払利息	37,940	20,991
売上債権の増減額(△は増加)	△72,859	△31,551
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,022	△93,673
仕入債務の増減額(△は減少)	15,275	3,237
未払金の増減額(△は減少)	△7,686	△1,239
未払たばこ税等の増減額(△は減少)	214,605	169,918
その他	△24,215	△21,934
小計	505,114	410,976
利息及び配当金の受取額	10,557	5,277
利息の支払額	△47,499	△26,907
法人税等の支払額	△109,449	△106,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	358,722	283,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,391	△2,997
有価証券の売却及び償還による収入	1,911	1,901
有形固定資産の取得による支出	△74,680	△81,487
有形固定資産の売却による収入	46,939	28,336
無形固定資産の取得による支出	△3,707	△4,577
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,873	1,431
子会社株式の取得による支出	△7,645	△1,164
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,060	△324
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	460	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△107	—
その他	6,772	△6,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,636	△65,397

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△150,826	48,697
長期借入れによる収入	24,532	1,655
長期借入金の返済による支出	△17,925	△151,846
社債の発行による収入	—	100,304
社債の償還による支出	△62,019	△191,874
配当金の支払額	△49,717	△53,601
少数株主からの払込みによる収入	—	189
少数株主への配当金の支払額	△3,207	△3,196
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△4,498
その他	△1,376	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,538	△254,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,511	5,416
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	43,036	△30,812
現金及び現金同等物の期首残高	215,008	167,257
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△953	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	257,091	136,445

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(2008年4月1日から2008年12月31日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	2,478,158	2,456,903	48,128	347,765	15,190	5,346,145	—	5,346,145
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	34,989	30,748	—	105	9,837	75,681	(75,681)	—
計	2,513,147	2,487,651	48,128	347,871	25,027	5,421,827	(75,681)	5,346,145
営業利益又は営業損失 (△)	152,254	170,527	5,806	△7,814	7,321	328,095	1,559	329,654

当第3四半期連結累計期間(2009年4月1日から2009年12月31日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	2,352,971	1,946,565	34,357	303,239	14,756	4,651,891	—	4,651,891
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	41,314	29,454	—	125	8,461	79,356	(79,356)	—
計	2,394,286	1,976,020	34,357	303,365	23,218	4,731,247	(79,356)	4,651,891
営業利益又は営業損失 (△)	163,998	97,346	△9,158	△7,357	8,106	252,935	(392)	252,542

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品(商品又は役務を含む)

(1) 国内たばこ…製造たばこ(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)

(2) 海外たばこ…製造たばこ

(3) 医薬……………医薬品

(4) 食品……………清涼飲料水、加工食品

(5) その他……………不動産賃貸、リース他

3. 営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりであります。

減価償却費(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
前第3四半期 連結累計期間	60,155	54,837	2,767	5,931	7,997	131,688	(461)	131,227
当第3四半期 連結累計期間	40,312	41,076	2,906	12,307	1,975	98,578	161	98,740

のれん償却額

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
前第3四半期 連結累計期間	816	71,980	—	7,672	—	80,468
当第3四半期 連結累計期間	816	64,536	—	9,100	—	74,453

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク(株)を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか外国たばこ製品（輸入たばこ製品）の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりであります。

（前第3四半期連結累計期間） 879,362 百万円

（当第3四半期連結累計期間） 837,868 百万円

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社の年度決算日は12月31日であり、2008年1月1日から2008年9月30日までを前第3四半期連結累計期間に計上しており、また2009年1月1日から2009年9月30日までを当第3四半期連結累計期間に計上しております。

6. 会計処理の方法の変更

（前第3四半期連結累計期間）

連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」

（実務対応報告第18号 2006年5月17日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、「海外たばこ」で71,980百万円減少しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。